特別支援学級学習指導案

　　　　　　　　授業者　T1 学級担任

T2 栄養教諭

１　単元名　『家での手伝い、家庭での役割』（１／１）

　　　　　　お手伝い大作戦！～おうちの人に静岡茶をごちそうしよう～

学　級　１～６年　15名

２　本時の目標

　　「家庭での自分の役割について」

Ａ　家でお手伝いをすると家族に喜ばれるとらえている。

　　・家族が喜ぶ時について考える。

　　・お茶の淹れ方を学ぶ。

Ａ’お茶を淹れることで、家族に喜んでもらいたいととらえる。

３　授業過程

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 活動 | 学習活動（○教師の働きかけ・予想される児童の反応） | ◇留意点　＊支援　【評】評価 | 形態 |
| つかむ追究する・深めるまとめる・つなげる | * 家族が喜ぶ時はどんな時ですか。（T1）

・みんなでいる時。・ごはんを食べている時。・この前、食器洗いを手伝ったら、喜んでもらえた。家族のみんなに喜んでもらうために、おいしいお茶の淹れ方を覚えよう。 ○お茶のおいしい淹れ方について知って、３人分のお茶を美味しく淹れてみよう。（T2）　・茶器の名前と扱い方　・淹れ方のポイント１．お湯の温度　70℃位（湯呑を触って確認）２．お湯の量（湯飲み８分目）３．茶葉の量（小さじ１杯）４．浸出時間（一煎目は１分）５．まわし注ぎ、最後の一滴　・二煎目の淹れ方（浸出時間：口カウント10秒）　・三煎目の淹れ方（浸出時間：すぐ）　・３人グループでお茶を淹れる（一～三煎目まで）○何煎目のお茶が一番好きでしたか。（T2）　・一煎目は、甘く感じた。　・二煎目は、家で飲んでいる味と同じだった。　・三煎目は、苦いけどさっぱりした味だった。○お家の人にも、おいしいお茶を淹れてあげられそうかな。（T1）・冬休みに、家族にごちそうしてみたい。・お正月にみんなで集まった時にごちそうしたい。・家にも急須があったから、今日帰ったら早速やってみようと思ったよ。 | ◇ポイントをおさえながら、デモンストレーションを行う。ポイントが多いため、T2のひとつの動作の後、すぐに児童も動くようにする。（お湯を湯冷ましに入れたら、児童もお湯を入れるなど）（T2）◇家庭でお茶を楽しむポイントを伝える。【評】思考・判断・表現　お茶を淹れることで、家族に喜んでもらいたいととらえる・発表から評価 | 全５分全35分全５分 |